

MSDS (安全データ記述書)

商品名：ラッペンワックス

株式会社 Planet Japan

## EG (欧州共同体) 安全データ記述書

EWG (欧州経済共同体) 91/155 に拠る

製品名 塗装布用ワックス

### 1. 社名及び所在地

製造業者 KREIDEZEIT NATURFARBEN GmbH  
通り名・私書箱 Hindenburgstrasse 15-16  
郵便番号・市町村名 D 31195 Lamspringe  
電話番号 (05183) 56 51  
緊急時連絡先

### 2. 成分表示・構成物質に関する記述

化学物質の特性 乾燥物質 (シカティブ、無鉛) を添加した、天然ワックスと植物性油脂の化合物

危険成分

### 3. 想定し得る危険性

危険性 当製品は、化学薬品法及び危険成分表示法に基づく危険成分ではない

特別な危険性 データなし

### 4. 救急処置

一般的注意事項 当製品が洋服などに付着した場合は、直ちに除去  
吸入した場合 気分が悪くなった場合は、医師の診断を仰ぐ  
誤飲した場合 直ちに医師の診断を仰ぐ。吐き出すか否かは医師の指示を仰ぐ  
肌に触れた場合 石鹸を使用し、水で充分洗う  
目に触れた場合 注意しながら水で充分洗う (15 分間洗う。眼の裏側も洗う。コンタクトレンズは外す) 眼科医の診断を仰ぐ

### 5. 消火作業の際の処置

消化に適した物質 CO<sub>2</sub>、泡状消化液、粉末状消化材、砂  
消化に適さない物質 水

防護服 危険な煙が発生した場合には、防煙マスクを装着する  
特記事項 容器を噴水器で冷やし、火元から遠ざける  
当製品、燃焼生成物、ガスによる危険 火災の場合、刺激性、びらん性、毒性のある乾留ガスが発生する可能性がある

#### 6. 誤って流出した場合の予防措置

人体の為の予防措置 特になし

環境保護の為の予防措置

下水、浄水、地下水に流出させない。軽微な水質汚染を引き起こす。WGK（水質汚染度）1（自己採点）  
除去方法 除去に適した吸水性のある物質（布、砂、のこくず）で吸い取り、その物質は乾かさずに他のものとは分離して廃棄する。

特記事項

#### 7. 取り扱いと保管

安全に取り扱う為 強い酸性物質との接触をさける

火災と爆発を避ける為

燃え移り易い火元に近付けない  
当製品に浸した雑巾、塗装用布は容器に密閉し、乾燥しない様に保存する  
亜麻仁油を含むので、自然発火の危険性がある  
保管・保管条件 容器の蓋をしっかりと閉め、乾燥し凍結しない冷暗所に、子供の手が届かない様に保存する。食品、飲料、動物の餌に接触させない

保管クラス

#### 8. 爆発の限界と人体保護

限界値 データなし

一般的な保護対策 作業中の飲食及び喫煙を行わず、皮膚や目との接触を避ける

防護マスク 必要なし

手の保護 気孔のない手袋を装着する

眼の保護 必要なし

体の保護 必要なし

## 9. 物理的及び化学的特性

- 9.1 外見 形状：ペースト状  
色：こはく色  
匂い：典型的な亜麻仁油の匂い

## 9.2 安全上重要なデータ

- pH： データなし  
濃度： データなし  
沸点： データなし  
発火点： データなし  
発火温度： データなし  
爆発限界点： データなし  
水溶性： 混合不可  
脂溶性： ほとんどの有機溶剤を用いて混合可  
粘性： データなし  
その他の特性： データなし

## 10. 安定性と復元性

- 避けるべき条件 高熱による分解の際に、刺激性のある蒸気とガスが発生する可能性がある
- 避けるべき物質 強い酸性物質
- 危険な分解物質 300℃以上の加熱の際にアクロライン（煙草の煙などに含まれる毒性物質）
- その他の特記事項 定められた保存法と用法を守る限り、分解は起こらない

## 11. 毒物学に関する記述

- 急毒性 データなし
- その他の特記事項 皮膚に長時間接触した場合、肌に刺激や違和感を感じる事がある

## 12. 生態学に関する記述

- 一般的な注意事項 下水、浄水、地下水に流出させない  
WGK（水質汚染度）1（自己採点）
- その他の特記事項 定められた使用法においては、環境汚染は認められない

## 13. 廃棄に関する注意事項

### 13.1 当製品の奨励される廃棄法

廃棄後の作業の簡便化の為に、残存物質は集めて乾燥させ、家庭ゴミとして処理する。塗料、ラッカーなどの廃棄に注意する

#### 廃棄に関する取り決め事項

廃棄物キーナンバー

廃棄物名 油性オイルワックス乳剤

証明義務

### 13.2 洗浄されていない容器の、奨励される廃棄法

空になった洗浄されていない容器は再利用する

## 14. 輸送に関する記載

#### 陸上輸送

ADR/RID 及び GGVs/GGVE

RID/ADR/GGVs/GGVE クラス :

番号・アルファベット :

警告板 : 危険番号 :

輸送物名 :

特記事項 :

#### 内水区域船による輸送 AND/ADNR

AND/ADNR クラス :

番号・アルファベット :

カテゴリー :

輸送物名 :

特記事項 :

#### 航洋船による輸送

LMDG/GGV See

LMDG/GGV See クラス :

UN 番号 : PG:

EMS: MFAG:

正確な技術名 :

特記事項 :

#### 航空輸送

ICAO-TI & IATA-DGR

ICAO/IATA クラス :

UN/ID 番号 : PG:

正確な技術名 :

特記事項 :

## 輸送に関するその他の特記事項

### 15. 規定事項

15.1 ドイツ工業品標準規格ガイドラインによる記号  
記号と危険の内容 記号を付ける義務はなし  
明記すべき危険性のある構成物質

なし

15.2 国家が定めた規定事項 ドイツ連邦共和国

作業の際の注意事項

VbV によるクラス付けなし

水質危険クラス WGK (水質汚染度) 1 (自己採点)

TA 気体 データなし

MAK 値

その他の規定事項、限定事項、禁止事項

なし

### 16. その他の特記事項

当製品の注意書きをお読みの上、使用方法にお気を付け下さい。当 EG (欧州共同体) 安全データ記述書の内容は、印刷時の弊社における最新情報によるものですが、当製品の特性を確定するものではなく、契約上、法的拘束力はございません。

当記述書は、当製品の保管、使用、輸送、廃棄の際の取り扱いについての基準を示すものです。当記述書の内容は、他の製品については有効ではありません。当製品を他の物質と混合、あるいは混ぜ合わせて作業を行った場合、又、加工を行った場合、明確な記載がある場合を除いて、当記述書の内容は、新たに生成された物質に対しては有効ではありません。